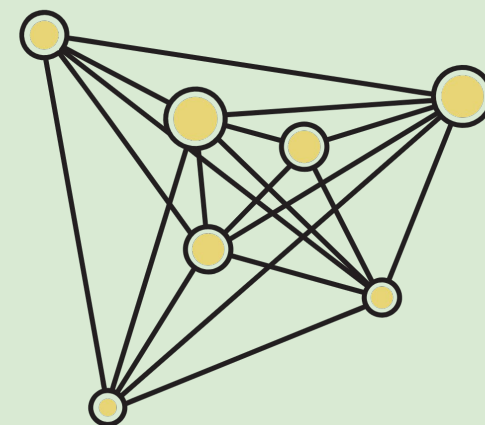


宮城県の助成プログラム×NPO ～資金と想いの好循環～



日 時 : 2023年10月13日(金) 14:00～17:00

会 場 : みやぎNPOプラザ／オンライン

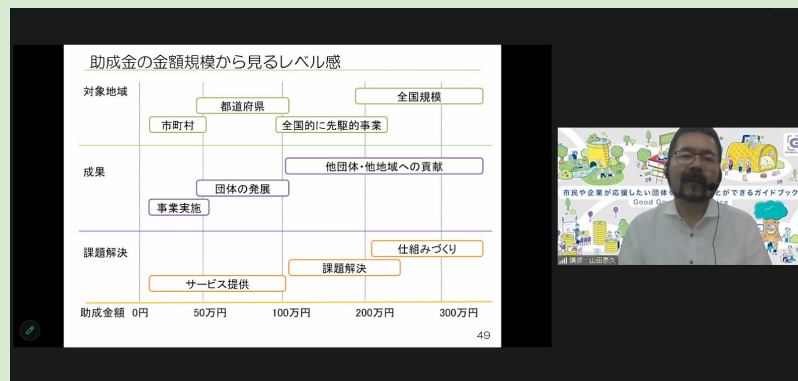
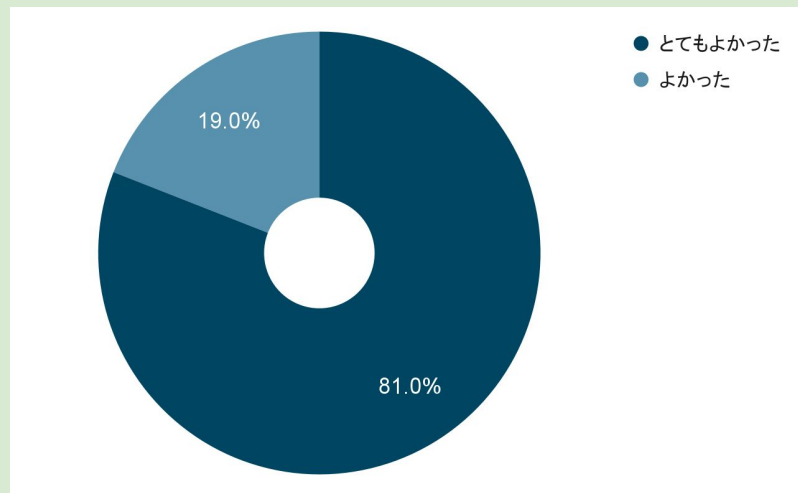
参加人数: 会場21名／オンライン20名

登壇団体: 一般財団法人愛知揆一福祉振興会、真如苑、東北労働金庫、
宮城県共同募金会、みやぎ生協 生活文化部

参加者アンケート(n=21)

01

基調講演(公益財団法人非営利評価センター山田泰久さん)はいかがでしたか？



02

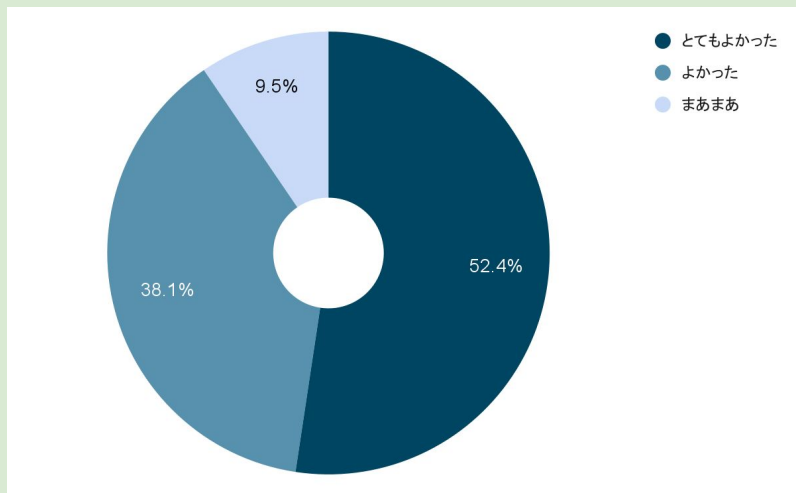
その理由を教えてください。

- 助成金を申請する際、主に**その助成金を頂いている期間の活動に重きを置いてしまい、なかなかその後の活動計画にまで思いが行かなかった**。今日のお話を聞いて、**先を見ることの大切さを感じた**。
- 助成金の規模や成長に応じた活用方法など、これまで**経験的に理解していたことを、改めて整理していただける機会**にもなりました。
- 自己財源化のノウハウの活用での事例が**数個あり参考になった**。また、**申請書に事業としての構造的な課題と組織課題も含むところが出来ていたのか自分でも再度確認しよう**と思います。

参加者アンケート(n=21)

01

登壇団体の発表はいかがでしたか？



助成金制度のポイント

- 資金用途の限定なし
 - ◆ 当庫から活動を指定して応援するのではなく、地域課題の解決に取組む**団体そのもの**を応援させていただきます
- 選考委員会は想いを伝える場
 - ◆ 事務局が申請いただいた団体を訪問して、**現地調査やヒアリング**を行いプレゼン動画を作成します
 - ◆ 選考委員会の場で**5分間のプレゼン動画**の上映を行います
 - ◆ 団体の活動に対する熱い想いや現場の様子を動画として選考委員に**直接伝える**ことができます
- 東北ろうきんの仲間が応援
 - ◆ 東北ろうきんを利用する仲間の想いを載せた「**意思あるお金**」として助成金をお渡しします
 - ◆ 当庫の利用者に活動の様子を**知らせる活動**をしています

02

その理由を教えてください。

○とてもよかった

- 団体ごとの**助成意図**が文面で読み取る以上に**理解**できた。
- 助成財団によって、どのような団体へ助成をしたいのか、という違いが具体的にわかってよかったです。**助成申請をする際は、積極的にご担当者の方へご相談してみたい**と思いました。

○よかった

- 助成してくださる団体さん**それぞれがどんなことを重要視して、プログラムを作っているか**を聞くことができ、**違いを実感**することができたから。

○まあまあ

- 応募できる案件がなかった

05

全体を通して、特に印象に残っていることや学びがありましたら教えてください。

“助成金の捉え方”編

- 「活動の可視化」+「活動の価値化」
- 助成金は助走金！10年スパンで団体の成長を考える。成長したいタイミングで助成金をうまく使う。

“日頃の意識”編

- 助成金を申請にあたり、常にホームページ等を最新の状態に更新し、現場を見ずとも活動の趣旨を伝えられる状態にする等、改めて基本的な事を確認するととても良い機会になりました。

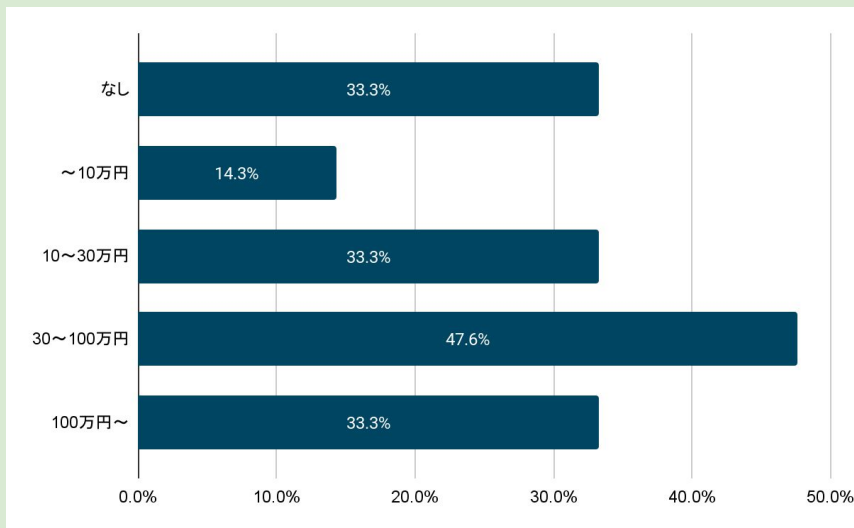
“相互理解”編

- 直接顔が見えるって大事だと思いました。
- 助成金の認識の差について、受ける側は活動費を求めるが、支援する側では事業に対して支援するというのを聞いて、まさにそのとおりだなと感じました。
- さまざまな方々と交流もでき意義深かったです
- 助成金の採択を通じた資産づくりという視点・助成元のネットワークや信頼を活用するという視点(また助成元も活用を期待していること)

参加者アンケート(n=21)

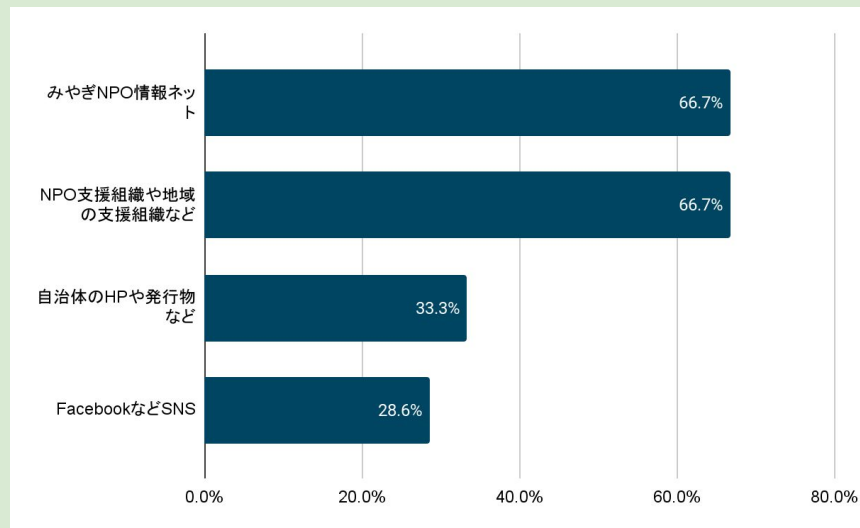
06

助成金申請経験について教えてください。(複数選択可)



07

現在、助成金情報はどのように得ていますか。(複数選択可)

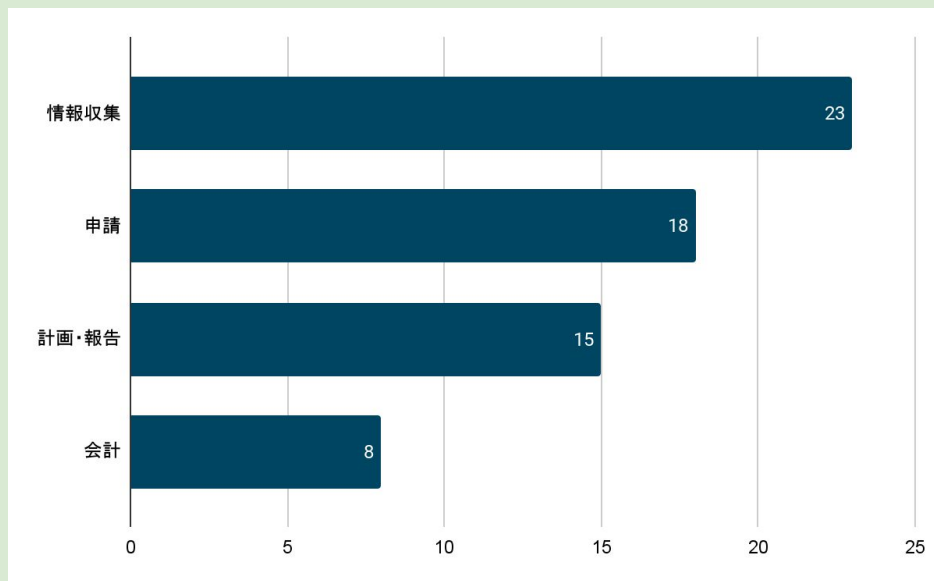


○参加者の声／貴重な学びの場をありがとうございました！団体の仲間と、学びをシェアして、今後の運営に繋げていきたいと思えます！／本日は、ありがとうございました。助成金の勉強会に参加させていただき、大変有意義な時間を過ごすことができました。「情報収集」が大変なので、宮城県内の助成金のスケジュールなどがあれば大変、助かります！／3ヶ月前にスタッフとして所属し、助成金のことなどを詳しく知らなかったもので、今回のセミナーに参加させていただきました。助成というものについてイメージが湧きました。ありがとうございました。

参加者アンケート(n=21)

08

助成金について課題と感じていることを教えてください。
(複数選択可)



○情報収集

自団体の活動分野に合うか(57.1%)
自団体の事業規模に合うか(52.4%)

○申請

募集要項の読み解き(47.6%)
申請書の書き方(38.1%)

○計画・報告

助成事業の計画の立て方(42.9%)
助成元への成果報告(28.6%)

○会計

領収書のまとめ方(19%)
法人会計との分け方(19%)

○その他

- 支援する側と受ける側、双方が理解しやすく確認しやすい手引きや様式が必要と感じています。
- 事業の達成のみならず、支援先の成長、将来展望など、発展性を問われる助成が圧倒的に多いと感じており、事業の継続目的での支援が受けにくくなっている。



成果と課題

本事業の実施においては、宮城県内で草の根で活動している NPOを対象に、助成金の性質や活用方法に対する理解を深め、持続的な活動にいきる資金活用に繋げてもらうことを目的とした。アンケート結果からも見てとれるとおり、基調講演の満足度は肯定的な感想が 100%を占めており、今回のような体系的な学びをNPOが求めていたことが伺える。またハイブリッド開催で対面での交流と、オンライン参加の気軽さを実現できたことで、各参加者のニーズに沿って学びの機会と出会いの場を創出することができた。

1団体10分という時間設定が適切かなど、より有効なプログラム設計を検証していくことが今後の課題である。助成金を体系的に捉える場としての場と、申請や活用までを見据えた情報収集としての場なのかきちんと設定し、場づくりを行っていききたい。

今後の展望

当初の目的の達成のみならず、登壇した助成団体からも想定以上の好反応が得られた。定期的な情報交換の機会を求める声もあり、今回構築した繋がりを契機に、当法人としては、NPOと助成元を繋ぐ立場として、双方のニーズに応じたネットワークおよび相互理解の場を継続的に設けていきたい。